

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月26日

滋賀県 知事 様

提出者

住 所 滋賀県米原市藤川650

氏 名 大阪シーリング印刷株式会社  
代表取締役 松口 正

電話番号 0749-58-1001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大阪シーリング印刷株式会社 滋賀工場 第一事業所
事業場の所在地	滋賀県米原市藤川650
計画期間	2025年 4月 1日～2026年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	15:印刷業
②事業の規模	製品出荷額 140億円 (滋賀工場全体)
③従業員数	202人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 廃棄物処理フロー図参照

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	別紙差組織図参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	1084.9 t	t
	(これまでに実施した取組)  品質向上及び生産性向上により生産ロスの低減するように取り組んでいる。(廃プラのみ)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	1036.4 t	t
	(今後実施する予定の取組)  品質向上及び生産性向上により生産ロスのさらなる低減の取り組みの継続(廃プラのみ)		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  全ての廃棄物において、分別・保管の徹底
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  リサイクル可能品があれば、分別巾を広げていく

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	実績なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
実績なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
予定なし			

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	795t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	715.9 t	t
(これまでに実施した取組)			
バイオマスボイラーの安定稼働努める			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	750 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	700t	t
(今後実施する予定の取組)			
バイオマスボイラーの安定稼働に努める。継続			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	実績なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	全処理委託量	327.5 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	327.5 t	t
	再生利用業者への処理委託量	268.7 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	36.4 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
再生利用業者・熱回収業者への委託に努める			

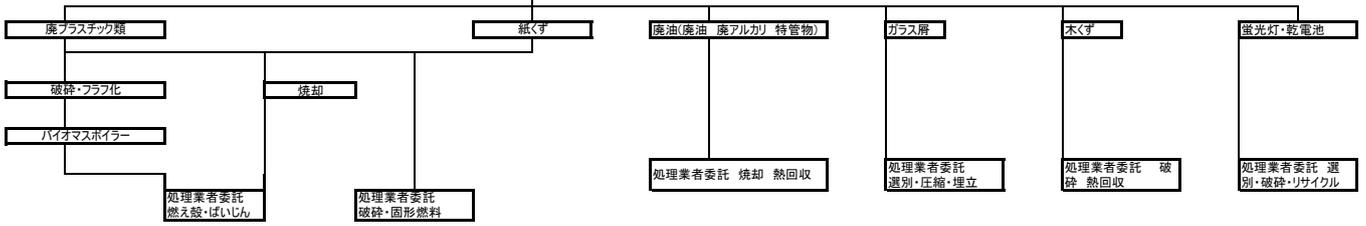
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙り通り	
	全処理委託量	319.7 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	319.7 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	262.8t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	36.4 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
再生利用業者委託の継続およびすべての残渣が、再利用できるように情報収集・業者の選定を継続			
※事務処理欄			

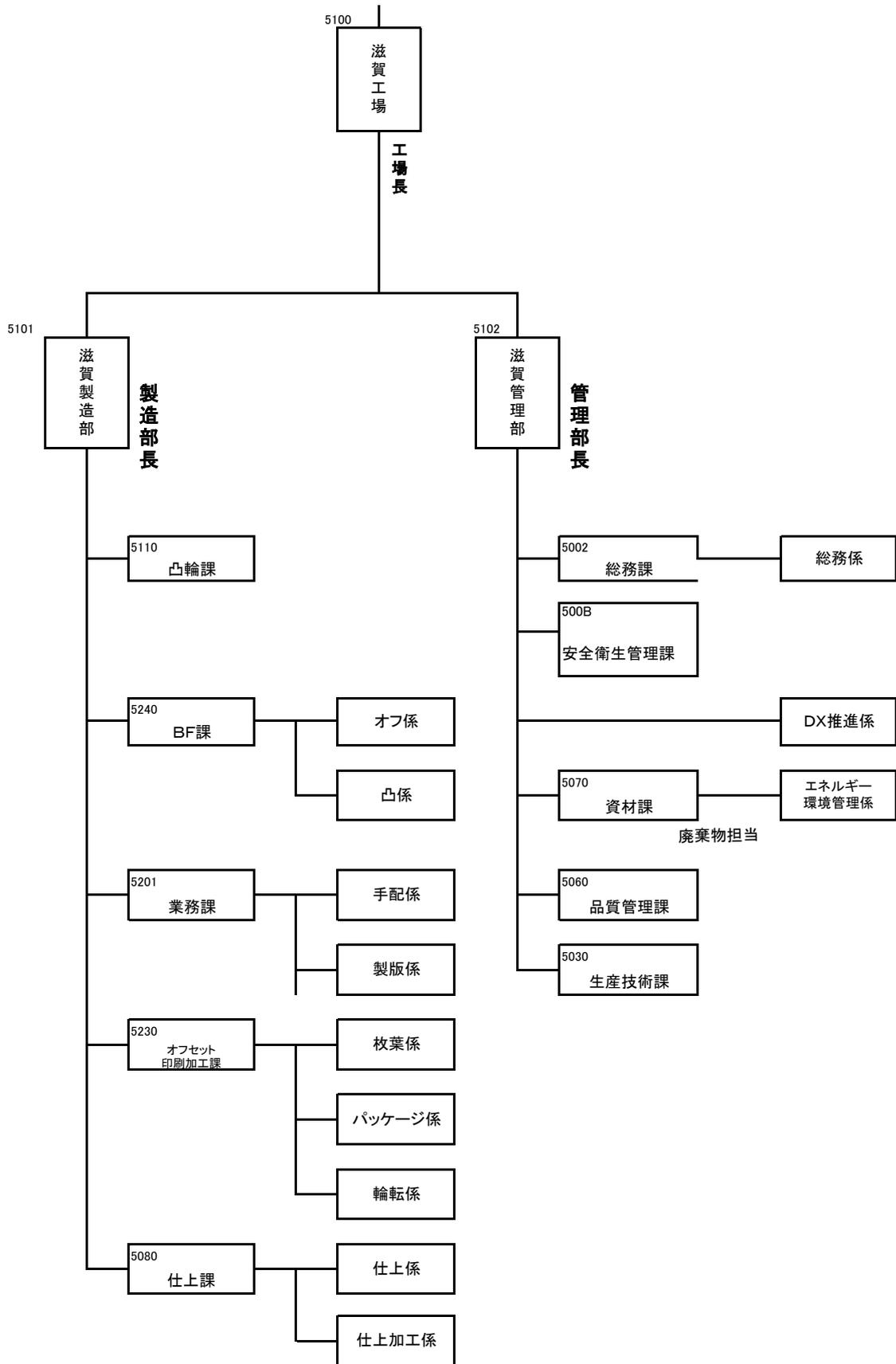
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了 するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理フロー図

滋賀工場





産業廃棄物の種類 現状と計画	廃プラスチック 処理委託		廃プラスチック 焼却炉		廃プラスチック 破砕・バイオマス		廃油(廃油・廃溶剤)		廃アルカリ(特管)		木くず		水銀含有産廃		現状 合計 t	計画 合計 t	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																	
排出量	153.7 t	150.0 t	48.1 t	48.0 t	795.0 t	750.0 t	20.6 t	20.6 t	15.8 t	15.8 t	51.7 t	51.7 t	0.0 t	0.3 t	1,084.90	1,036.4 t	
これまでに実施した取組	品質向上及び生産性向上により生産ロスの低減するように取り組んでいる												実績なし				
今後実施する予定の取組	品質向上及び生産性向上により生産ロスのさらなる低減の取り組みの継続												本年度処理予定				
産業廃棄物の分別に関する事項																	
分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組																	
今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組																	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																	
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量																	
これまでに実施した取組																	
今後実施する予定の取組																	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																	
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量					795.0 t	750.0 t										795.00	750
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量			41.5 t	41.5 t	715.9 t	700.0 t										757.40	741.5
これまでに実施した取組	バイオマスボイラーの安定稼働に努める。																
今後実施する予定の取組	バイオマスボイラーの安定稼働に努める。継続																
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量																	
これまでに実施した取組																	
今後実施する予定の取組																	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																	
全処理委託量	153.7 t	150.0 t	6.6 t	6.6 t	79.1 t	75.0 t	20.6 t	20.6 t	15.8 t	15.8 t	51.7 t	51.7 t			327.5	319.7	
優良認定処理業者への処理委託量	153.7 t	150.0 t	6.6 t	6.6 t	79.1 t	75.0 t	20.6 t	20.6 t	15.8 t	15.8 t	51.7 t	51.7 t			327.5	319.7	
再生利用業者への処理委託量	153.7 t	150.0 t	6.1 t	6.1 t	57.2 t	55.0 t					51.7 t	51.7 t			268.7	262.8	
認定熱回収業者への処理委託量							20.6 t	20.6 t	15.8 t	15.8 t					36.4	36.4	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																	
これまでに実施した取組	再生利用業者への委託に努める	全ての残渣が再生利用できるように情報収集、業者の選定を行っていく															
今後実施する予定の取組	再生利用業者への委託の継続	全ての残渣が再生利用できるように情報収集、業者の選定を継続															